

日野原重明記念「新老人の会」石川



会 報 (44号)

発行日 2020年7月10日(金)

日光で新型コロナ撃退を

世話人代表 鈴木 雅 夫

皆様お元気でお過ごしでいらっしゃいますか。

新型コロナウイルスの感染も地球全域に亘る蔓延となり、一部落ち着きと思われる地区もあるようですが、活発持続や、再燃の兆しがみられることになるかも知れません。

コロナウイルスは太陽光（紫外線）に弱いとされていますので、感染予防にしっかり日光に当たることは、非常に有意義です。三密と言われ、外出を控えて家の中ばかりの生活では、体力、筋力の低下でフレイル、ロコモと進んで行き易くなりますし、感動が無ければ脳認知力の低下になりかねません。これからは梅雨時期を過ぎれば晴天の日が多くなりますから、一日15分は陽光を浴び、歩く事が健康維持に肝要です。コロナの活動が低下すれば、浴光歩行で健康を保たれ、「新老人の会」のグループ活動で認知症を予防し、体力向上に努められますことを期待致して居ります。



「新老人の会」オリジナル 日めくりカレンダー（日野原重明著）より（抜粋）

- *創めることさえ忘れなければ 人はいつまでも若さが保てます。
- *子どもは親が育て成人は社会が育てる そして老人になると自分が自分を育てる。
- *齢の上手な重ねかたで 人は成熟するのです。
- *人生の生き方をさりげなく若い人に伝えることは 齢を重ねた人の大切な仕事です。
- *蒼穹に大きな理想の円を描き その円の弧の一つになりましょう。
- *人を愛する心の輪で 世界に平和を築きましょう。
- *新しいこととの出会いが あなたに若さを与えます。
- *勇気をもって 新しい人に触れる機会をもちましょう。
- *見えるものよりも 見えないものの中に真があるのです。
- *よき友との出会いが あなたを成長させます。
- *生き方のモデルに接し そのモデルに学びましょう。
- *身体のどこかに不具合があっても 朝目覚めた時に感じるさわやかさは それが健康のしるしです。
- *耐えることあなたには 人の苦しみを感じとれる感性が生まれてきます。
- *人から受ける前に まず自分を提供しましょう。
- *死が何であるかを子どもに伝えるのも 齢を重ねた先輩の役目です。
- *若い人からあんなふうに齢をとりたいと思われる 老人になりましょう。



「老いを生きる」生活雑感

今日も有難う

辰 巳 明 子

「よく食べ」「よく動き」「よく眠る」の一日であれば、今日はよかったと思うこの頃です。

91歳を迎えた今、当り前のことですが、自分で食材を求め、調理し、食べる、そして体を使ってすることの予定表を見てそれを実行する。朝までしっかり熟睡することは無理としても、何度か眠りが浅くなっても、よく眠るようにしています。

私は学生時代、日展作家で鯉をモチーフとしておられた先生の刺激を受け、油絵を描き始めたのです。駆けだしの教員の頃、山口操助先生や宮本三郎先生といった二紀会の大先生に出会い、いよいよ本格的に油絵作家を目指しました。初めは静物画で、いろいろ楽しんでいたのですが、教員仲間と山代温泉へ行ったとき宿泊した宿に、中国の壺ですがなかなか良い物がありまして、それをスケッチしアトリエであれこれ構成し、作品に仕上げて二紀展に出品したところ、嬉しいことに初入選しました。

早速、東京都美術館へ出かけたのです。その折、近くにある上野博物館へ足を延ばし出展の数々を観たとき、埴輪に出会ったのです。古代人の豊かな業に心打たれ、来年はこれを構成に取り込もうと考えました。このモチーフで三十年程描き続けてきたのですが、昭和58年に、能登真脇に縄文の遺跡の発掘が新聞に掲載され、すぐに見学に出かけました。

何と北の方から海流に乗って能登半島にたどり着いた真脇の縄文人は、四千年もの間定住した跡があり、出土した遺物も見事なものばかりだったのです。その後、ここは国指定の遺跡になったのですが、私の創作意欲に火がつき、作品として大きく変化していったのです。

あっと思う間の三十数年だったのです

が、今はアトリエで二時間位の時を、楽しみながら過ごしています。意外に体力を使う描く仕事ですが、『よく働き』の実践として、今日一日の予定の中で時をこなしております。

(事務局から)

辰巳さんは当会のサークル「絵手紙」の講師としてお世話になっております。8名のメンバーで、毎月第4木曜日(10:00~12:00)に活動しております。



右から3人目が辰巳さん

伊勢湾台風が人生の岐路に

山 内 ミナル

私は三重県伊勢市で生をうけ、幼少期から大学卒まで同県四日市市で過ごしていました。

キリスト教会付属の幼稚園を卒園した9歳年下の弟が、卒園後もずっと日曜日には教会の日曜学校に出席していました。私が大学3年生の夏、東京で日曜学校の世界大会が開かれ、小学6年生になっていた弟が、牧師や日曜学校の先生に連れられて、教会の代表としてその大会に参加させていただきました。経費は全て教会が出してくださったので、お礼方々、母と教会の夕礼拝に出たところ、聖書から導き出される牧師の説教に強く惹かれるものがあり、翌週から毎週出席することになりました。青年期の多感な年齢で、人間としての生き方、ものの考え方等に悩み、模索していた時期でしたから、初めて教会の門をくぐって4か月しか経っていませんでしたが、その年

のクリスマスに洗礼を受けさせていただきました。

翌年9月土曜日、午後のラジオが台風接近のニュースを流していました。教会学校のお手伝いをさせていただいておりましたので、教会堂のお掃除を終え、翌日の教会学校の準備を大急ぎで終え、傘もさせないくらいに強まった風雨の中を帰宅しました。夕食を済ませたころ、近くの川が氾濫し、どんどん濁流が押し寄せてきました。家族6人（祖母、両親、弟二人と私）は二階に上がり、父の命令で、いざというときは、はぐれることが無いよう、それぞれの体を腰ひもで数珠つなぎにしました。電気は消え、ゴーっという風の音の他は、だれも声を出す者もなく、家族みんなの顔は恐怖と不安でテーブルの上の1本のローソクの光に揺れていました。どれくらい時間が経ったのでしょうか、「ちょっと、様子を見てくる」と私は繋がれていた腰ひもをはずし、階段の途中、ふくらはぎまで水につかりながら、「御心ならば助けてください。もし、命があるならば、これからの私の人生はあなたのために捧げます」と必死に祈っていました。

後日この台風は「伊勢湾台風」と名付けられました。60年以上も前のことです。現代のような機械力はなく、人的援助もなく、我が家の壁土が落ちて、虫かごのようになった家を家族総出で、山の土で応急処置をし、壁が本業の職人さんによって直されたのは半年もたった翌年3月になってからでした。

とにかく、まだまだ復旧作業の最中であつた年末、牧師を通して北陸学院高校から「教員として採用したい」という招きの連絡がありました。すでに三重県、愛知県など教員採用試験は終わっており、指導教官初め、家族、友人誰もが金沢行を反対しました。しかし、私は受洗した時の決意と、台風のさなか、神様に「あなたのために捧げます」と約束したことを無にするこ

とはできませんでした。「3年間だけ」と家族を納得させ、金沢に赴任したのです。その時旧約聖書のアブラハムが「私の示す地に行きなさい、との神の召しをこうむった時、その行く先を知らないで出て行った」という聖句が私の背中を押してくれました。

3年間だけのつもりが、こちらで家庭を持ち、北陸学院高校で定年をはるかに超えて教頭、校長として働かせていただき、退職後も専門学校の教務部長として3年間、その後保育園の園長として10年間、合わせて59年の長きにわたって教育者としての役割を与えていただきました。又その間、電話カウンセラーとして40数年、YMCAの支援団体であるワイズメンズクラブの会員として40余年、ボランティア活動を楽しみ、「新老人の会 石川」の創設に関わり、現在も活動させていただいています。欠けの多い、土の器にしか過ぎない私を、あやまてるところは神が正し、足りないところは神が補ってくださることを信じて、これからも許される限り、神に喜んでいただけるよう励んでいきたいと思っています。本当に祝福された人生であつたと感謝の日々を送っている私です。



2020（令和2）年8月29日（土）に予定していました「会員の集い・懇親会」は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止とします。

花明かり句会

(順序不同)

万緑の囲む赤壁懐かしき(四高跡で)
炎熱にマスク隅空け深呼吸
鈴木雅夫

緑陰を気高く宿す御佛供杉
黄金の穂先を空へ麦の秋
福岡恒忠

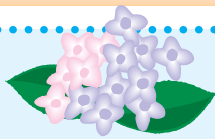
発表会ピアノに赤きバラ一輪
花火師の若き髪また炎色
大島恒治

堰庭の波を掠める初つばめ
降り出しの雨が匂へ柚子の花
宮下美智子

水入れて田を打つ夫婦夏ゆやけ
夏座敷母といただくお茶一服
新川光子

葉桜や芸術村のノルディック
雨はげしあじさいの庭見る孤独
長丸良子

緑陰ゆ蝶舞い出する真昼かな
おだやかに青葉潮寄す母の里
海に向く兵士の墓所の濃紫陽花
北山八重子



はめ字作品



忘	姿	あ	と	八	忘	お	あ	愛	ね
れ	に	の	顔	代	れ	も	の	し	え
ら	か	ひ	の	あ	ら	か	ひ	の	あ
れ	ん	か	よ	紀	れ	げ	か	人	な
ぬ	動	ら	さ	歌	ぬ	が	ら	よ	た
飯田 世三					大島 恒治				

作品有難うございます。
漢字も使い、川柳のように
ユーモアに富んだものを期待
しています。
多数の方のご参加を！
(×切りは9月1日まで)
数澤輝夫、鈴木雅夫まで

次回作品募集

		き		
		も		
く	よ	ち	も	き
		よ		
		く		

確	ご	あ	最	試
め	う	の	高	験
ら	か	ひ	の	あ
れ	く	か	成	っ
た	を	ら	績	た
水口まり子				

御	殿	あ	ろ	松
知	に	の	店	任
ら	か	ひ	の	あ
せ	急	か	発	ん
候	の	ら	掘	こ
飯田 世三				

氣	守	あ	三	約
は	る	の	つ	束
ら	か	ひ	の	あ
く	ら	か	み	る
に	だ	ら	つ	よ
竹田 芳子				

者	未	あ	今	そ
減	だ	の	日	ら
ら	か	ひ	の	あ
ぬ	ん	か	日	お
今	染	ら	本	ぎ
新川 光子				

根	無	あ	戦	少
う	灯	の	中	女
ら	か	ひ	の	あ
室	の	か	日	ン
へ	屋	ら	記	ネ
飯田 世三				

わ	幸	あ	喜	今
れ	多	の	び	日
ら	か	ひ	の	あ
前	れ	か	日	し
進	と	ら	々	た
数澤 輝夫				

に	密	あ	野	は
入	や	の	辺	る
ら	か	ひ	の	あ
ん	に	か	出	さ
哉	胸	ら	合	さ
竹田 芳子				

阿	延	あ	一	五
修	期	の	ト	輪
ら	か	ひ	の	あ
た	く	か	決	ス
れ	悟	ら	意	リ
飯田 世三				

自	感	あ	め	営
か	染	の	て	業
ら	か	ひ	の	あ
自	く	か	休	き
肅	大	ら	業	ら
新川 光子				

人	復	あ	熊	震
々	興	の	本	災
ら	か	ひ	の	あ
黙	け	か	4.	ま
禱	て	ら	16	た
竹田 芳子				

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、皆様は自粛生活をどの様に過ごされておられますか。年を重ねると心から笑える事は少なくなっていく様に思われます。笑顔が免疫力をアップします。こんなご時世だからこそ笑っていたいと思います。今後も多くの方に原稿を、お声がけしていきますので、ご協力の程よろしく願いいたします。(新川光子 記)

次号の発行は10月1日、原稿締切日は9月1日です。字数は原則800字以内でお願いします。
送付先：山内ミハル
〒921-8163 金沢市横川2-268-2
E-mail huukowanwan@pf6.so-net.ne.jp
編集責任者：世話人代表 鈴木雅夫
編集委員：山内ミハル・数澤輝夫・新川光子・長丸良子・福岡恒忠
印刷：榎谷印刷 金沢市中村町28-14